

科目名	言語教育デザイン論特講	担当者	ヤベ ヒロコ 谷部 弘子	期間	通年	単位数	4
-----	-------------	-----	-----------------	----	----	-----	---

【科目概要】

目 的	言語教育、とくに日本語の教育実践をとりあげ、学習目標に応じた授業デザインについて具体的な検討を行う。この講座を通して、以下の能力を身につけることを目的とする。 (1) 課題に対し、論理的・批判的に考察し、論旨明快かつ具体的に自身の見解を示す力 (2) これまでの実践経験や学修で得られた知識に基づいて、独自の教材や授業を立案する力 (3) 他者との協働やコミュニケーションを通して得た知見を教育実践に応用する力																		
到達目標	【一般目標 (GIO)】 日本語および既存の日本語教材を分析的に捉え直す力、能動的な学習に関わる理論や理念を理解し教育実践に応用する力を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 (1) 基本教材の内容を正確に読み取り、かつ批判的に思考することができる。 (2) 目標言語である日本語を省察し、具体的な教材の作成や授業デザインにつなげることができる。 (3) 学習の質や内容に焦点を当てて、授業を組み立てることができる。																		
学修方略 (方法)	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 manaba folio を利用して、インタラクティブな協働学習を実施する。 図書館やインターネットを活用して、資料収集やレポート作成など自主研究を行う。 【学修方略 (LS) と学修時間】 レポート課題を念頭に置きながら、基本教材を精読する (自習、学修時間：10 時間)。 レポート課題に関連する文献や資料にあたり、問題点を整理する (自主研究、学修時間：10 時間)。 manaba folio の掲示板を利用してディスカッションやピア・レスポンスを行う (ディベート、学修時間：5 時間)。 レポートの初稿・最終稿の執筆 (レポート作成、学修時間：15 時間)。 レポートの構成・内容について担当教員とのディスカッションを通して検討を行う (ディベート、学修時間：5 時間)。 ★学修時間は課題レポート 1 件あたりの目安時間																		
スケジュール	<table><tr><td>＜前期＞</td><td>レポート課題 1</td><td>初稿締切：6 月末</td><td>最終稿提出期限：学事暦で定められた日</td></tr><tr><td></td><td>レポート課題 2</td><td>初稿締切：8 月末</td><td>最終稿提出期限：学事暦で定められた日</td></tr><tr><td>＜前期＞</td><td>レポート課題 1</td><td>初稿締切：10 月末</td><td>最終稿提出期限：学事暦で定められた日</td></tr><tr><td></td><td>レポート課題 2</td><td>初稿締切：12 月末</td><td>最終稿提出期限：学事暦で定められた日</td></tr></table>			＜前期＞	レポート課題 1	初稿締切：6 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日		レポート課題 2	初稿締切：8 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日	＜前期＞	レポート課題 1	初稿締切：10 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日		レポート課題 2	初稿締切：12 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日
＜前期＞	レポート課題 1	初稿締切：6 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日																
	レポート課題 2	初稿締切：8 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日																
＜前期＞	レポート課題 1	初稿締切：10 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日																
	レポート課題 2	初稿締切：12 月末	最終稿提出期限：学事暦で定められた日																
成績評価	種 別	割合	評価基準																
	レポート	80%	(1) レポートの構成と内容が課題に対応しているか (2) 論旨が明快で、読みやすく記述されているか (3) 引用の仕方を含めて表現が適切であるか																
	観察記録	20%	ピア・レスポンスへの参加度 レポート添削への対応 など																
履修者への要望	・基本教材を精読するにあたっては、参考図書ほか関連する文献や資料にも目を通しながら十分に理解し、批判的に考察するように努めてほしい。 ・ディスカッションでは、感じたことを述べ合うだけでなく、なぜそう考えたのか、よりよくするためにはどうすればよいのかなど、建設的な議論となるように努めてほしい。 ・レポートは、論文としての体裁を満たしていることが前提です、学会の投稿規程などを参照し、十分に推敲してから提出すること。																		

【レポート課題】

基 本 教 材 1	
教材の概要	著者名： 近藤安月子・丸山千歌（2021）『日本語教育実践入門 日本語の分析から教材・授業の 教材名： 創造まで』東京大学出版会 ISBN: 978-4130820219 2,900＋税
	本書は、「開発型日本語教師」の育成を目指して、教師が自分で日本語を振り返り分析し、教材 作成や授業デザインにつなげていく力を身につけることを意図して構成されている。
参考図書	・深澤のぞみ/本田弘之（2019）『日本語を教えるための教材研究入門』くろしお出版 ISBN: 978-4874248201 1,980 円 ・松岡弘監修（2000）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワ ーク ISBN: 978-4883191550 2,420 円 ・『みんなの日本語初級Ⅰ・Ⅱ 第2版本冊』スリーエーネットワーク ほかに日本語教科書
履修上の ポイント	教授項目（日本語表現）については、内省や公開されている日本語データベース等を活用して、 理解を深めてほしい。
レポート課題 1	第1課から第4課までを読み、「日本語教育の視点でみる」とはどのようなことか、「日本語教育 の実践に向けて」留意すべき点としてどのようなことがあげられるか、筆者らの考えをまとめ、そ れに対する自分の意見を述べる。（第4課以降の課を参照してもかまわない。） 留意点： 引用と意見を明確にし、わかりやすく読みやすく記述すること。
レポート課題 2	第5課以降の課で扱っている表現項目のうち一つを選び、その課の「教材を作成する1」「教材 を作成する2」の問題に答え、とくに留意した点について述べる。 留意点： とりあげた表現項目が既存の教材でどのように扱われているかも参照してほしい。

基 本 教 材 2	
教材の概要	著者名： 松下佳代編（2015）『ディープ・アクティブラーニング』勁草書房 教材名： ISBN: 978-4326251018 3,300 円
	本書は、高等教育機関での学習をとりあげて、「ディープ・アクティブラーニングを生じさせや すくするには、どのようなカリキュラム・授業・評価・学習環境が求められる」のか、という問い に答えるべく、企画・編纂されたものである。ディープ・アクティブラーニングの理論的基盤を論 じた第1部と、物理学・哲学・教員養成など異なる領域の科目で行われた実践を紹介した第2部か ら構成されている。
参考図書	・溝上慎一（2014）『アクティブラーニングと教授学習パラダイムの転換』東信堂 ISBN: 978-4326251018 2,640 円 ・渡部 淳（2020）『アクティブ・ラーニングとは何か』岩波新書 ISBN: 978-4004318231 880 円
履修上の ポイント	第2部で紹介されている実践は、言語教育とは異なる領域の事例で、理解しにくい点があるかも しれない。これまでの教育実践の経験を念頭に置き、「能動的な学習」「主体的な学び」「深い学び」 とはどのようなことか、言語教育の現場に応用するとすれば、どのような活動がそれらにつながる のかを考えながら精読してほしい。
レポート課題 1	第1部（第1章から第4章まで）を読み、なぜ学習は「アクティブ」であり「ディープ」でなけ ればならないのか、「アクティブ」であり「ディープ」であるとはどういうことかについて整理し、 それに対する自分の意見を述べる。 留意点： 引用と意見を明確にし、わかりやすく読みやすく記述すること。第1部全体を論じても、 特定の章に焦点を当てて論じてかまわない。
レポート課題 2	基本教材1のレポート課題2で考えた授業デザインを基に、基本教材2で挙げられているディ ープ・アクティブラーニングの理論的基盤やさまざまなフィールドでの試みのうち最も関心をもった 考え方や方法を応用し、新たな授業デザインを提案する。 留意点： 提案する内容は小さな工夫でもよいので、どのような理論的基盤に拠ってその学習活動を 考えたかを記述すること。

基本教材 1

第 1 回	教材の学修：基本教材 1 の第 1 課
第 2 回	教材の学修：基本教材 1 の第 2 課
第 3 回	教材の学修：基本教材 1 の第 3 課・第 4 課
第 4 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 5 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 6 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 7 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 8 回	教材の学修：基本教材 1 の第 5 課以降の課
第 9 回	教材の学修：基本教材 1 の第 5 課以降の課
第 10 回	教材の学修：基本教材 1 の第 5 課以降の課
第 11 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 12 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス（第 1 回）
第 13 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス（第 2 回）
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成

基本教材 2

第 1 回	教材の学修：基本教材 2 の第 I 部 第 1 章
第 2 回	教材の学修：基本教材 2 の第 I 部 第 2 章
第 3 回	教材の学修：基本教材 2 の第 I 部 第 3 章
第 4 回	教材の学修：基本教材 2 の第 I 部 第 4 章
第 5 回	レポート課題 1：初稿の作成
第 6 回	レポート課題 1：ピア・レスポンス
第 7 回	レポート課題 1：添削指導に対する修正稿の作成
第 8 回	レポート課題 1：最終稿の作成
第 9 回	教材の学修：基本教材 2 の第 II 部 第 6 章
第 10 回	教材の学修：基本教材 2 の第 II 部 第 7 章
第 11 回	教材の学修：基本教材 2 の第 II 部 第 8 章
第 12 回	レポート課題 2：初稿の作成
第 13 回	レポート課題 2：ピア・レスポンス
第 14 回	レポート課題 2：添削指導に対する修正稿の作成
第 15 回	レポート課題 2：最終稿の作成